

平成22年1月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年9月2日

上場会社名 ピープル株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 7865 URL <http://people-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役

(氏名) 桐淵 千鶴子

問合せ先責任者 (役職名) IR担当

(氏名) 飛田 留美子

TEL 03-3862-2768

四半期報告書提出予定日 平成21年9月3日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年1月期第2四半期の業績(平成21年1月21日～平成21年7月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年1月期第2四半期	1,197	10.3	59	—	43	—	24	—
21年1月期第2四半期	1,085	△2.8	△21	—	△11	—	△9	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年1月期第2四半期	5.59	—
21年1月期第2四半期	△2.00	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年1月期第2四半期	2,001	1,713	85.6	393.00
21年1月期	1,989	1,752	88.1	402.15

(参考) 自己資本 22年1月期第2四半期 1,713百万円 21年1月期 1,752百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年1月期	—	0.00	—	25.00	25.00
22年1月期	—	0.00			
22年1月期 (予想)			—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年1月期の期末配当予想につきましては、第3四半期が終了し、年末商戦を見極めた上で発表させていただきます。

3. 平成22年1月期の業績予想(平成21年1月21日～平成22年1月20日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

当社の業績は、年末商戦期間(10～12月)の業績に左右されます。このような玩具市場の特性に鑑み、第3四半期までは通期の予想発表を控えさせていただきます。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧下さい。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧下さい。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年1月期第2四半期	4,437,500株	21年1月期	4,437,500株
② 期末自己株式数	22年1月期第2四半期	79,816株	21年1月期	79,816株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年1月期第2四半期	4,357,684株	21年1月期第2四半期	4,357,684株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 予想修正は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化により、予想数値と異なる場合があります。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い、四半期財務諸表を作成しております。

5. 平成22年1月期第3四半期（平成21年7月21日～平成21年10月20日）および
平成22年1月期第3四半期累計（平成21年1月21日～平成21年10月20日）の業績予想

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		第3四半期純利益		1株当たり第3四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
22年1月期第3四半期	795	(7.0)	87	(△4.0)	※	※	※		※
21年1月期第3四半期	743	(3.9)	91	(74.6)	55	(4.6)	△82	(-)	△18 87
22年1月期第3四半期累計	1,992	(9.0)	146	(110.7)	※	※	※		※
21年1月期第3四半期累計	1,828	(△0.2)	69	(34.8)	44	(△42.3)	△91	(-)	△20 86

(注) 1. 経常利益および当第3四半期純利益ならびに1株当たり当第3四半期純利益につきましては、予想対象から除外させていただいております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

	金額	対前年同期間比 (ご参考)
売上高	1,197百万円	10.3% 増
営業利益	59百万円	-
経常利益	43百万円	-
第2四半期純利益	24百万円	-

不況下の売上高前年同期間比10.3%増

当33期(平成22年1月期)の第2四半期に入り、不況の影響を受けにくいと言われた知育や基礎玩具でも前年を割る状況で、玩具市場は沈滞し、消費冷え込みに回復の兆しが見えません。食品・日用品だけでなく、量販店等の玩具売場でも売上不振を補うPB商品の増加等で売場の争奪は益々厳しく、百貨店における集客不足も玩具市況に直接影響し始めています。また、大人用を含む自転車市場でも、エコブームで盛り上がった前年に比べ下回る傾向で、楽観出来ないと同業界で言われ始めています。

このように当社を取り囲む販売環境は、1ヶ月ごとに厳しい方へと変化し、全くの逆風の真只中ですが、当社では当第2四半期も自転車の好調に恵まれ前年を維持し、当33期上半期の売上高は11億97百万円、前年同期間実績対比10.3%増と第1四半期の好調を継続しています。

乳児・知育カテゴリーでは、競合他社やPB商品の価格消耗戦が激しかった前年同期間に対し、既存商品中心に前年を数ポイント上回る堅調な推移で、沈滞する市況全般とは異なる傾向があります。これは一時的に、需要を先食いした前年の値下げ競合品は後が続かず定番から撤退し、価格競争に参加しなかった「やりたい放題」シリーズや、「熱中知育」シリーズでは、消費者の支持により安定回転率が維持され、売上効率評価で当上半期の定番に残った点が実績に反映したと見ています。

また、同カテゴリーでは、“これなら1歳で今すぐ遊べる”「頭の体操つみき」9,975円(税込み)を発売し、高額商品群の木製つみき売場に磁石付きプラスチック製商品で参入を試み、導入が困難とされた百貨店の定番化にも成功しました。上半期最終月7月度では、競合他社が目をつけていない、おすわり出来た6ヶ月の赤ちゃんの為にユニークな座椅子型知育玩具「ごきげん!おちゃんこの知育」を発売しました。税込み価格6,279円の高額商品ですが、近年流行しているハーフバースデイというお祝い需要に反応が出始めました。このように高額でも消費者を引き込む商品がある一方、ガラガラやおしゃぶりのような乳幼児玩具では比較的高額寄りのデザインに富んだ輸入アイテム等の流行が一段落したことから、“価格も良品!”をうたい文句とする当社の「ノンキャラ良品」シリーズは、不況下成長路線を継続しています。

女兒玩具のお人形カテゴリーでは、お道具等の販売が売上を押し上げ、前年実績を超えて推移しました。当期では“やわらかいぽぽちゃん”が単独で僅かに需要取り戻しを示しております。また、4-6歳女兒を対象に「エコ」を遊びにした「キラ・デコ エコパピエ」4,179円(税込み)が上半期終盤の同カテゴリー売上増に僅かに寄与しました。「これからは遊びもエコでなくっちゃ!」と呼びかけるコマースャルが、既に幼稚園等で指導されるエコブームと合致し売れ出しました。

遊具・自転車カテゴリーでは、昨年まで過去6年間「いきなり自転車」のコンセプトで購入される年間の消費者数には一定の限界がありましたが、当上半期で自転車流通店舗での販売が加わり、販売7年目にして年次消費者動員数がこれまでの限界数を越え、成長路線に転じました。しかも当社商品の販売価格は、幼児用自転車の中で最高額品にも拘わらず購入者が増えており、幼児用自転車は、大人用を含む自転車市場の縮小消費傾向とは若干異なるのではないかと推測しております。

増収に伴い上半期営業利益5年ぶりの黒字

上述のような厳しい環境下の前年比10.3%増収に伴い、同期間の営業利益は59百万円となりました。自転車の原価では前年に大幅な値上げ受け入れ後、原材料コストの低下による仕入単価修正が若干進みましたが、標準原価まで戻すには至らず、利益構造への圧迫は当期も続いております。しかし近年、売上低迷と原材料や人件費高騰が重なり営業利益赤字が避けられずに来た上半期では、当期は5年ぶりの黒字となりました。

当上半期では、当年12月で10年間の期間満了となるライフサイエンス投資事業組合への投資は、投資回収見通しがたたないことが明らかとなり、当第2四半期で21百万円の減損を余儀なくされ、経常利益では43百万円、税引後第2四半期純利益は24百万円となりました。

貸倒リスクの高まり

すでに第1四半期では直接取引先2社の貸倒をご報告しておりますが、前期末商戦から続く市場低迷は、財務基盤が脆弱な企業には厳しい影響が出ております。当社では、取引信用保険を付保するなどの対策で貸倒による損益への影響を最小限に留める努力をしておりますが、今後一層の警戒を必要とし、予断を許さない状況が続きます。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における資産合計は、前事業年度末に比べて、11百万円増加し20億1百万円となりました。流動資産では、売掛金の回収が進んだことや売上の増加に伴う商品在庫の減少等により32百万円減少した一方で、固定資産において主に投資有価証券の時価評価により43百万円の増加となりました。

負債は、主に、当第2四半期末に商品仕入があったことにより買掛金が増加したこと、また、未払法人税等の計上により、前事業年度末に比べて51百万円増加の2億88百万円となりました。

純資産は、当四半期純利益および保有株式の時価評価による増加の一方、剰余金の配当により前事業年度末に比べ40百万円減少し、17億13百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は85.6%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物は、前事業年度末より92百万円増加し、11億80百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税引前四半期純利益の計上による増加をはじめとして、売上債権の減少やたな卸資産の減少等により、2億38百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、金型等固定資産の取得および投資有価証券の取得により37百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払により1億9百万円の支出となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

お盆商戦を含む第3四半期の玩具全般市況は不安定で、消費の低迷は当面続くと考えています。当社も上半期の好調がどこまで継続するかは極めて不透明であり、新製品発売による前年実績を超える計画を進行しながらも、売上高の予想は前年同期間比7%増前後に留まる見通しです。

4. その他

当社は、既に入場以来毎四半期ごとに経営成績を開示しておりますが、平成19年に四半期財務諸表等規則が施行された事により、第1四半期から財務諸表等を規則に準じ作成しております。貸借対照表につきましては前事業年度末と比較併記しておりますが、損益計算書およびキャッシュフロー計算書につきましては前中間会計期間と比較併記しております。それにより前中間会計期間実績と会計処理が異なる点が一部ありますため、その注釈を主なものに付けて別紙ご報告しております。又、同じく会計処理につきましても以下の点において変更しております。

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産につきましては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっており、従来の四半期における算出方法から大きな変更はありません。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加算減算項目や税額控除項目の内、重要なものに限定し算出しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に、経営環境等の著しい変化、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合は、前事業年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニング（将来の法人税等の発生について予測し計画すること）を利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、新会計基準による移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

5. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

区分	当第2四半期会計期間末 (平成21年7月20日)		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年1月20日)
	金額 (千円)	構成比	金額 (千円)
資産の部		%	
流動資産			
現金及び預金	1,180,281		1,087,902
受取手形及び売掛金	276,849		338,867
有価証券	-		9,090
商品	180,608		214,559
原材料	1,793		124
その他	9,140		29,625
貸倒引当金	△526		△399
流動資産合計	1,648,145	82.4	1,679,767
固定資産			
有形固定資産	75,449	3.8	67,495
無形固定資産	4,812	0.2	5,326
投資その他の資産			
投資有価証券	185,365		152,875
その他	87,035		83,972
投資その他の資産合計	272,400	13.6	236,847
固定資産合計	352,661	17.6	309,668
資産合計	2,000,806	100.0	1,989,435

区分	当第2四半期会計期間末 (平成21年7月20日)		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年1月20日)
	金額 (千円)	構成比	金額 (千円)
負債の部		%	
流動負債			
支払手形及び買掛金	123,747		98,280
未払法人税等	7,843		1,095
その他	106,625		87,626
流動負債合計	238,216	11.9	187,001
固定負債			
長期未払金	50,000		50,000
固定負債合計	50,000	2.5	50,000
負債合計	288,216	14.4	237,001
純資産の部			
株主資本			
資本金	238,800	11.9	238,800
資本剰余金	162,712	8.1	162,712
利益剰余金	1,312,901	65.6	1,397,468
自己株式	△42,579	△2.1	△42,579
株主資本合計	1,671,834	83.6	1,756,401
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	40,757		△3,967
評価・換算差額等合計	40,757	2.0	△3,967
純資産合計	1,712,591	85.6	1,752,434
負債純資産合計	2,000,806	100.0	1,989,435

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

当事業年度より、平成19年に施行された四半期財務諸表等規則に準じ作成しております。前年との比較併記に関して、前年中間期実績と会計処理が異なる点が一部生じておりますので、注釈(※)をご参照下さい。

区分	当第2四半期累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年7月20日)		(ご参考) 前中間会計期間 (自平成20年1月21日 至平成20年7月20日)		注記 番号	増減額 金額(千円)
	金額(千円)	百分比	金額(千円)	百分比		
I. 売上高	1,196,777	100.0	1,084,999	100.0		111,778
II. 売上原価	628,685	52.5	578,585	53.3		50,100
売上総利益	568,092	47.5	506,414	46.7		61,678
III. 販売費及び一般管理費						
1. 広告宣伝費	138,185		158,484			
2. 販売促進費	16,836		24,683			
3. 運賃	78,588		73,527			
4. 役員報酬	35,808		34,708			
5. 給与及び手当	90,103		89,118			
6. 支払手数料	35,968		30,787			
7. 研究開発費	37,527		42,249			
8. その他	75,789		74,068			
販売費及び一般管理費合計	508,805	42.5	527,625	48.7		△ 18,820
営業利益	59,287	5.0	△ 21,211	△2.0		80,498
IV. 営業外収益						
1. 受取配当金	1,480		1,847			
2. 有価証券運用益	1,270		-			
3. その他	1,208		9,836			
営業外収益合計	3,958	0.3	11,684	1.1		△ 7,726
V. 営業外費用						
1. 支払利息	72		-			
2. 投資事業組合運用損	20,668		1,410			
営業外費用合計	20,740	1.7	1,410	0.1		19,330
経常利益	42,505	3.6	△ 10,937	△1.0		53,442
VI. 特別利益						
1. 貸倒引当金戻入益	-		89			
2. 和解金	-		3,000			
特別利益合計	-		3,089	0.3		△ 3,089
VI. 特別損失						
1. 固定資産除却損	14		-			
2. 投資有価証券評価損	-		5,635			
特別損失合計	14	0.0	5,635	0.5		△ 5,621
税引前四半期純利益	42,491	3.6	△13,483	△1.2		55,974
法人税、住民税及び事業税	6,509		451			6,058
法人税等調整額	11,607		△5,227			16,834
法人税等合計	18,116	1.6	△4,776	△0.4	※	22,892
四半期純利益	24,375	2.0	△8,707	△0.8		33,082

(※注) 法人税等合計について

前中間会計期間実績では期末と同様の税務申告計算に基づいて算出していますが、当期では、加算減算項目や税額控除項目の内、重要なものに限定し算出しています。

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

区分	当第2四半期累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年7月20日)	(ご参考) 前中間会計期間 (自平成20年1月21日 至平成20年7月20日)
	金額 (千円)	金額 (千円)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	42,491	△13,483
減価償却費	23,169	19,691
投資事業組合運用損	20,668	1,410
売上債権の増減額 (△は増加)	62,018	82,553
たな卸資産の増減額 (△は増加)	32,281	△40,303
仕入債務の増減額 (△は減少)	25,467	△380
その他資産負債の増減額	30,408	△2,386
小計	236,503	47,101
利息及び配当金の受取額	1,582	2,129
利息の支払額	△72	-
和解金の受取額	-	3,000
法人税等の支払額	△65	△85,342
営業活動によるキャッシュ・フロー	237,948	△33,112
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△26,706	△21,480
投資有価証券の取得による支出	△10,360	△17,697
投資事業組合からの分配による収入	-	5,000
為替予約決済による収入	-	31,241
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,066	△2,936
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△108,411	△108,764
その他	△143	515
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,554	△108,249
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△92	△42
V. 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	92,236	△144,339
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	1,087,505	1,117,564
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,179,741	973,226

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. カテゴリー別販売の状況

①第2四半期累計期間売上高

	当第2四半期累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年7月20日)	(ご参考) 前中間会計期間 (自平成20年1月21日 至平成20年7月20日)	(ご参考) 前年同期間比
	(千円)	(千円)	
乳児・知育玩具	433,324	426,755	101.5%
女兒玩具	292,451	277,111	105.5%
遊具・乗り物	346,930	263,131	131.8%
その他	124,072	118,002	105.1%
合計	1,196,777	1,084,999	110.3%

②新発売商品 (当第2四半期累計期間発売)

カテゴリー名	商品名	標準小売価格 (税別)
乳児・知育玩具	「頭の体操つみき」	¥9,500
	「うちの赤ちゃん世界ー 全身の知育メリー&ジム」	¥7,800
	「ごきげん!おちゃんこの知育」	¥5,980
	ノンキャラ良品シリーズ「おもちゃのお家」	¥4,480
	ノンキャラ良品シリーズ「おもちゃメガネ」他 計4種	¥680~¥980
遊具・乗り物	「いきなり自転車 折りたたみ式」 ミントグリーン	¥22,800
	「いきなり自転車 かじとり式」 ネイビーレッド	¥22,800
	「チェーン式三輪車」 ローズピンク	¥19,800
女兒玩具	お人形「よちよちぼぼちゃん うさぎのよだれかけ」	¥4,180
	お人形「女の子だもんぼぼちゃんデニムのジャンパースカート」	¥4,380
	着せかえ「うさぎのよだれかけ付き遊び着」	¥1,200
	着せかえ「デニムのジャンパースカートセット」	¥1,400
	100万突破記念限定「お風呂もお部屋もいっしょぼぼちゃん」 (浴衣セット)	¥3,980
	夏季限定着せかえ「トロピカルフラワー浴衣セット」	¥1,400
その他	「新お買い物ベビーカー」	¥3,980
	「お砂体感ウェアとお道具セット」2色 キラ☆デコ「エコパピエ」	各¥1,980 ¥3,980